

毎年、体裁上の不備が多いものを下記に示します。必ず熟読してください。

不備が多い場合は、執筆要領違反に該当し、「不採択」となりますので予めご注意ください。

- 本文の書式は、1行あたり25字×47行の2段組とし、原稿の余白は、上25mm、下20mm、左右を22mmに指定すること。
- 「題目」は左寄せとし、「論文・報告」の種別の後に1文字空けて書き始めること。題目が1行で収まらない場合は、2行目の書き始めを左から4文字目とする。
- 文章の文字は、全て黒字を使用すること。
- 文章の区切りは、カンマ「,」、句点にはマル「。」を使用すること。
- 要旨は、4行～6行以内にまとめること。また、左右の端から2文字分をあけて記載すること。
- キーワードを区切るときは、カンマ「,」を使用し、1行以内とすること。
- 「要旨」と「キーワード」の間は続けて書き始めること（行を空けないこと）。
- 「題目」、「要旨、キーワード」、「章・節・項」、「参考文献」の各見出しは、全てMSゴシックを用いること。
- 和文「題目」に含まれる英数字のフォントは、MSゴシックを用いること。
良い例：論文 FRCシートを用いたRC柱
悪い例：論文 FRCシートを用いたRC柱 ← 英文字にTimesを用いている
- 文中に引用する表-1、図-2や図、表、写真に記載するタイトルのフォントは、数字も含めて黒のMSゴシックを用いること。
- 図・表・写真中の文字は、7ポイント以上にすること。
- 図-1、表-1、写真-1のように、図と数字の間は、全角のハイフンを入れること。
また、数字も含めてMSゴシックを用いること。
悪い例1：図1、表1、写真1 ← 数字の前に全角のハイフンがない
悪い例2：図-1、表-2、写真-3 ← 数字とハイフンがゴシック体になっていない
悪い例3：図-1、表-2、写真-3 ← ハイフンが全角になっていない
- 「章の見出し」の上段は、1行空けること。なお、「節・項の見出し」の上段は、行を空けずに詰めて書き始めること。
- 図・表・写真と本文の間は、1行以上空けること。
- 参考文献の後には、図・表・写真を配置しないこと。また、参考文献のフォントを小さくしたり、行間を狭くしたりしないこと。
- 本文の文末は、左右の段を出来る限り揃えて書き終えること。